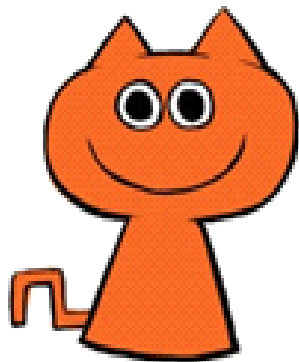


社会福祉はひきこもりとどう向き合うのか

豊中市社会福祉協議会の実践から



マスコットキャラクター“ビーのん”
よろしくね！！



社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 勝部麗子



豊中び～のび～の

メダカ販売はじめました!!



楊貴妃とは…。

気高く綺麗な朱赤色なので、世界三大美女の
楊貴妃と名づけられました。ヒメダカと同じく
突然変異で朱赤色になったそうです。
水槽だけでなく、睡蓮鉢やボトルでお洒落に
飼う事もできます。

楊貴妃 一匹 200 円

び～のび～のとは？

これまで一歩が踏み出しにく
かった、引きこもりがちな人
の通いの場です。

小学校やこども園での飼育体験
高齢者施設でのリラクゼーション
にいかがですか？
水槽の設置や産卵時期の繁殖
についてもアドバイスします。
下記にお問合せください。

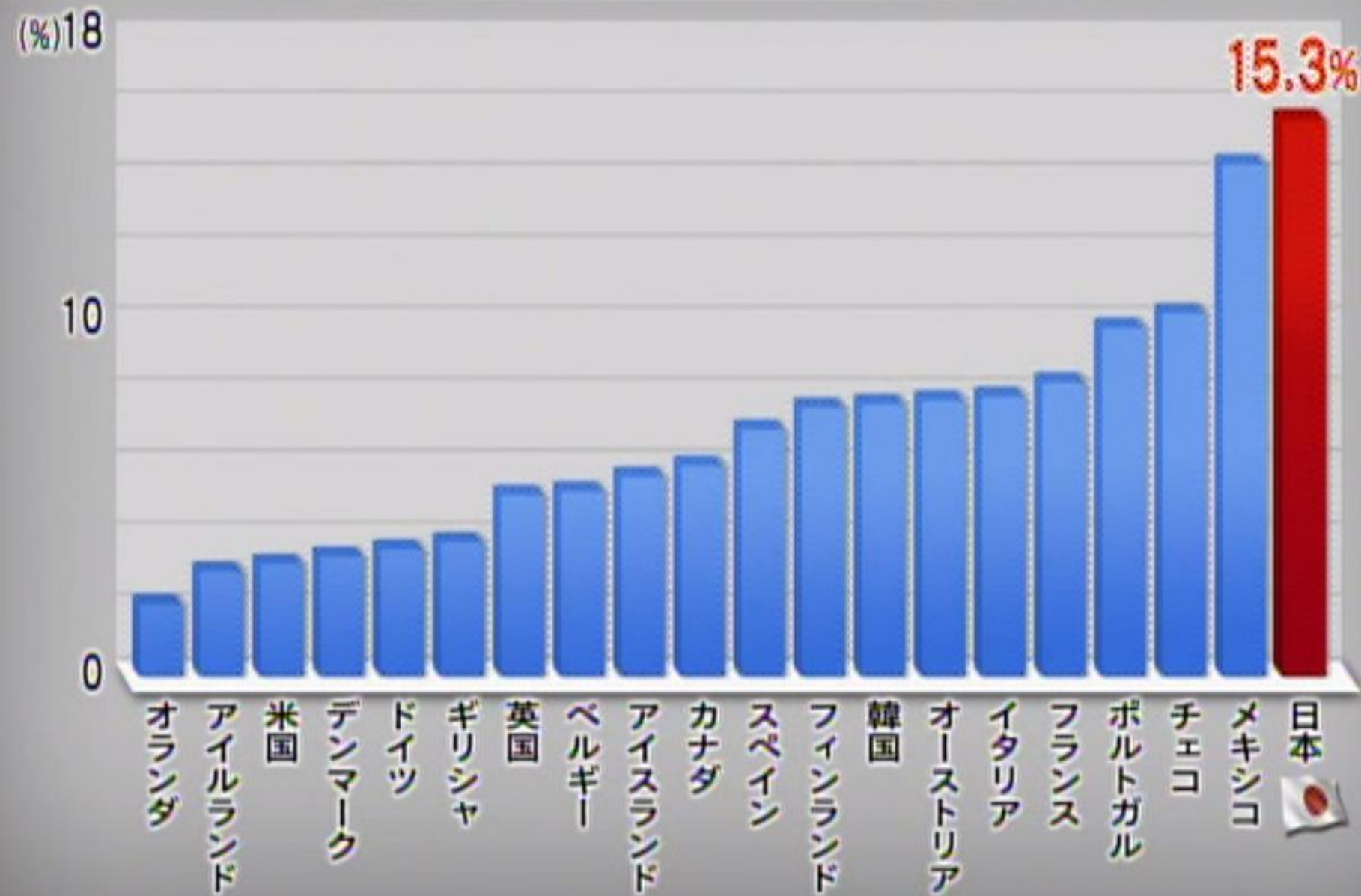
社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

活動場所：東豊中地域福祉活動支援センター
豊中市東豊中町 5 丁目 3-1
(東豊中老人憩の家4階)

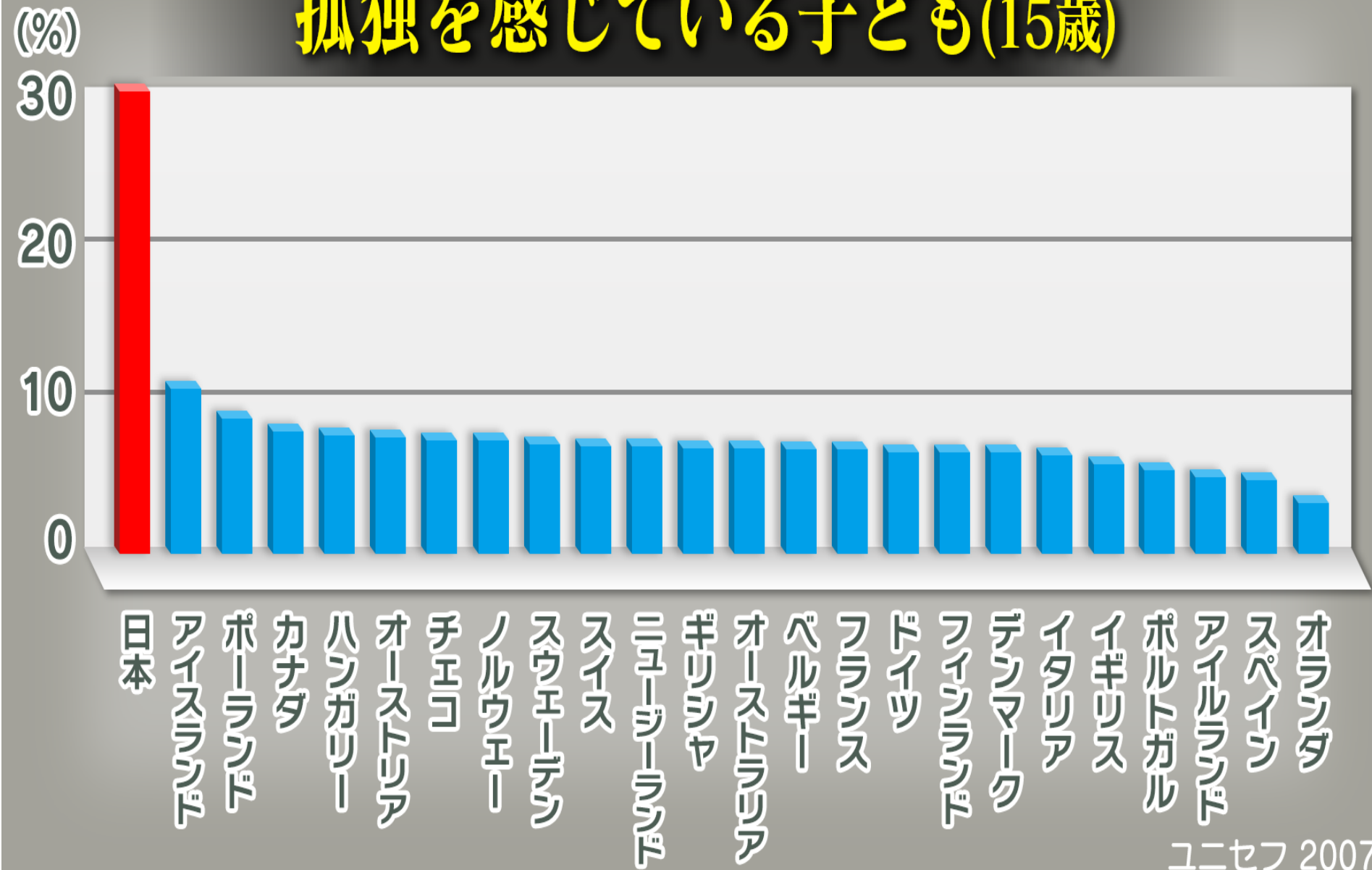
連絡先：地域福祉課地域支援係
TEL 6848-1279
FAX 6841-2388

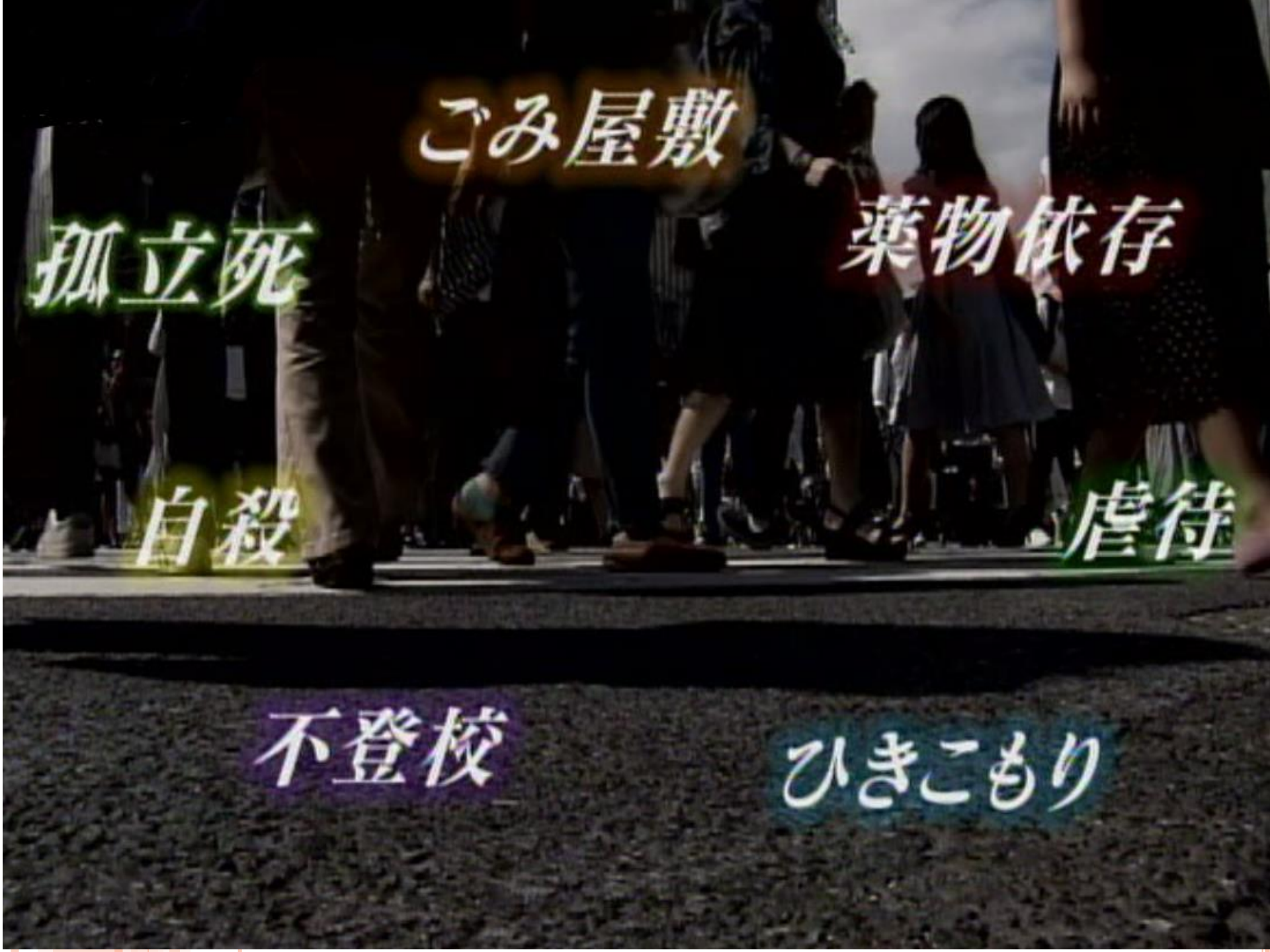


社会的孤立の状況 (OECD 2005年)



孤独を感じている子ども(15歳)





ごみ屋敷

孤立死

薬物依存

自殺

虐待

不登校

ひきこもり

ごみ屋敷

孤立死

薬物依存

自殺

社会的孤立

虐待

不登校

ひきこもり

社会福祉は

- 1,セルフネグレクトかソーシャルネグレクトか
- 2,地域共生社会とひきこもり支援
- 3,アウトリーチにおける社会福祉専門職の課題



地域共生社会への新たなステージ

- ・一人も取りこぼさない ……SOSを出せない人に届く
- ・排除から包摂へ ……総論賛成各論賛成へ
- ・支えられた人が支える人に
- ・全ての人に居場所と役割を

…それを支えるための丸ごと

断らない福祉

多機関協働

…福祉が町おこし

…社会的孤立への対応



1,豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み 排除から包摂へ

- ①制度の狭間から地域づくりへ
- ②住民と協働するワーカー
- ③ライフセーフティネットの仕組み
- ④プロジェクト会議(出口づくり)

総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり

→ 個の課題から地域づくりを考える

ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050

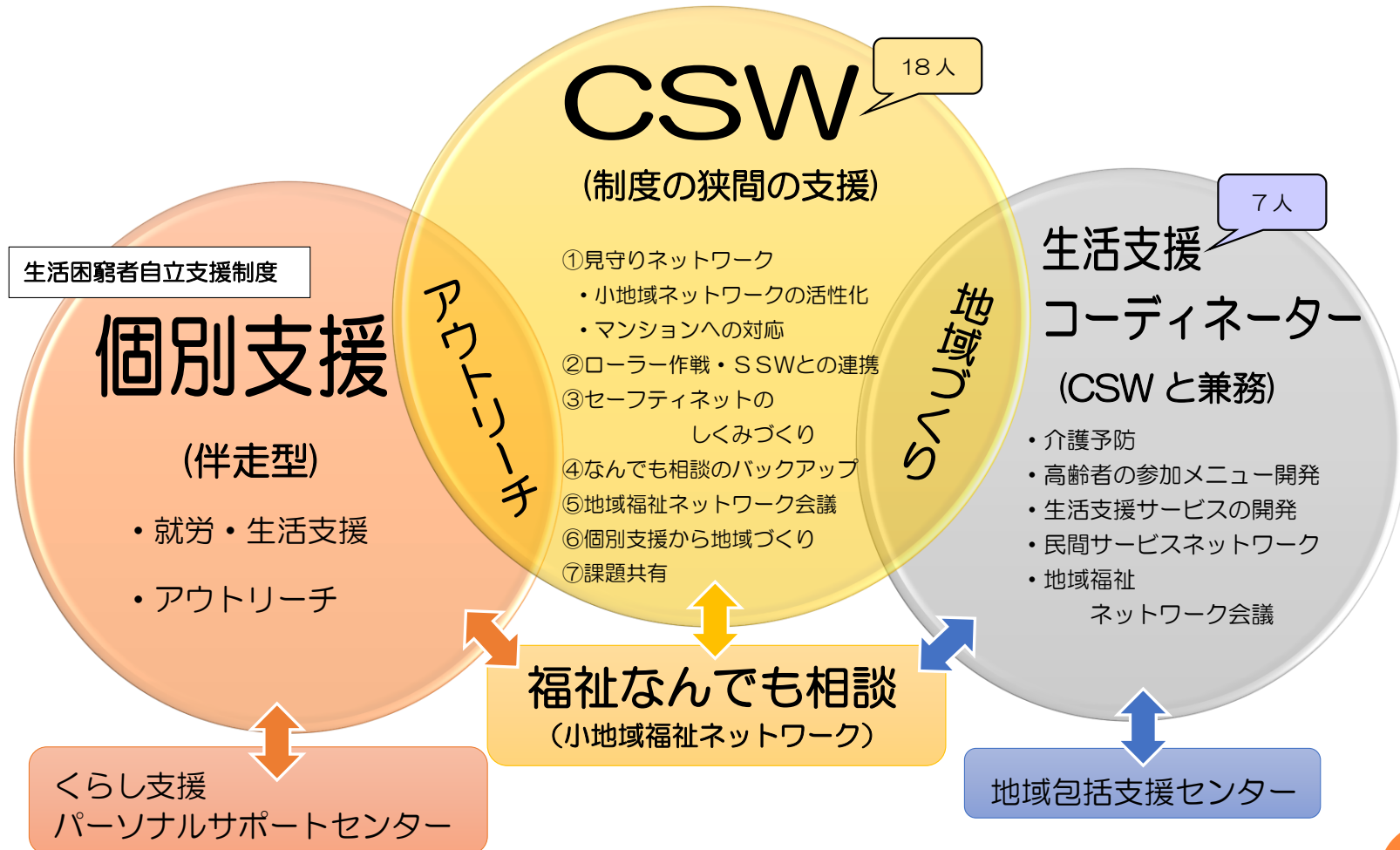
アルコール依存・刑余者などなど

社会的孤立へのアプローチ

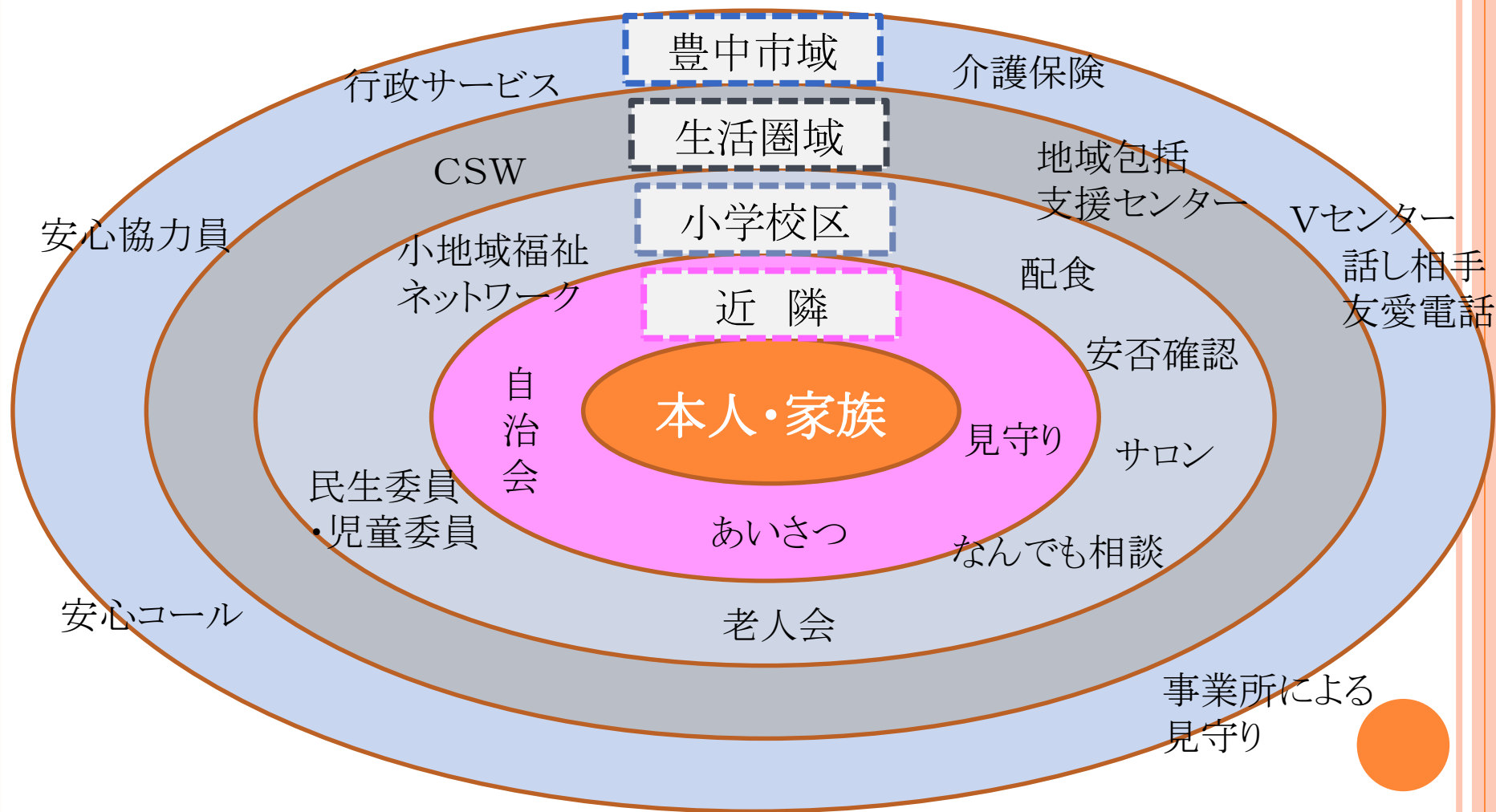


【地域福祉推進専門職の役割】

豊中社協(案)



①豊中における重層的な見守りの方法



一人も取りこぼさない①

ローラー作戦 年間3600軒

見守りマップ作り

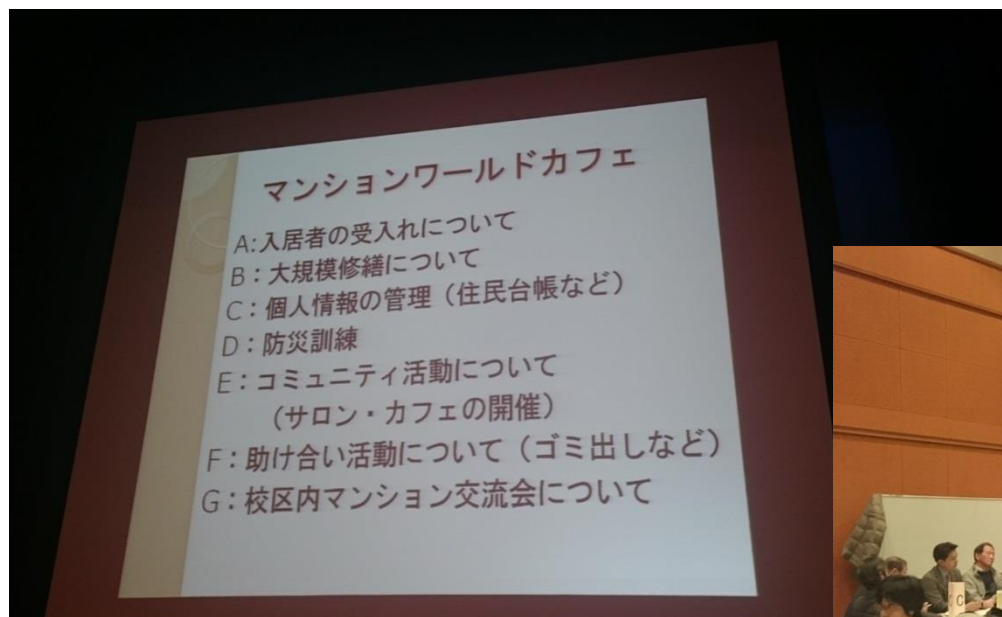


■	気になる人
■	学校・施設
□	空家
■	現在だけ空家(入院・入所など)
●	民生児童委員
●	福祉委員・助け合いメンバー
●	ボランティアしてくれそうな人
○	まほろば会員
●	一人暮らし
●	障がいのある人
●	お弁当の配食
●	高齢者

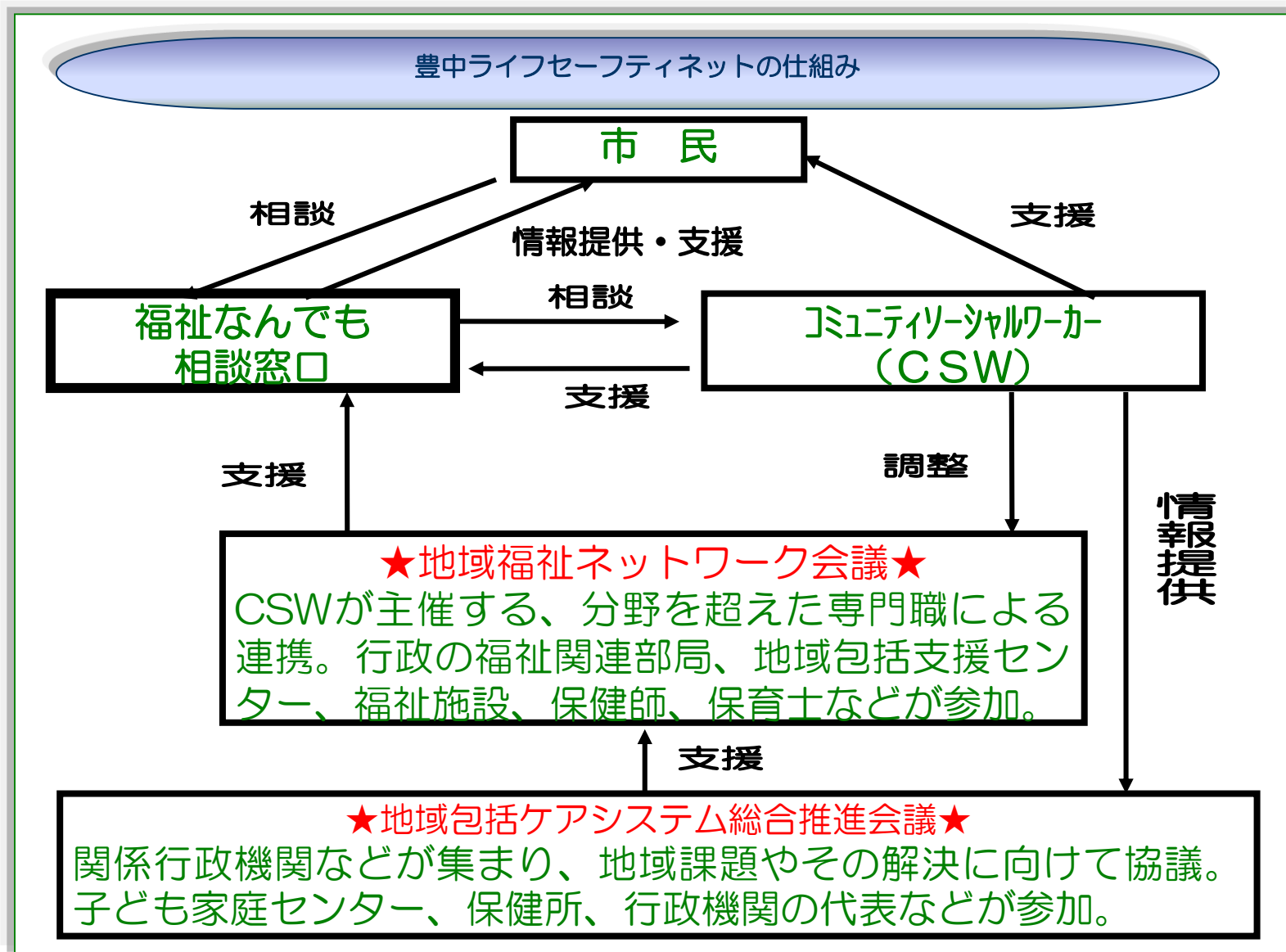


一人も取りこぼさない②

マンションサミット・マンション交流会



丸ごと・多機関協働 一人も取りこぼさない③



ひきこもりのパターン

①経済的に裕福な場合

親が大企業 → 転勤 不登校 ひきこもり

→ 受験失敗

→ 就職 うつ・リストラ 介護離職

...親の年金で食べられる 孤立 発見が遅れ

②経済的に困窮している場合

親が困窮 → 不登校 → 学習できない → ひきこもり

...親元で生涯暮らす 貧困の連鎖

8050問題は経済構造によって生まれた平成の遺産



事例1 20年以上のひきこもり

- 父親が大企業に勤めていて転勤
- 子どもが転勤によりいじめにあう
- 受験期に失敗→家庭内暴力など
- ひきこもり

両親へ家族会に参加を呼び掛ける

本人を居場所に→就労体験→就労支援→OB会



事例2 強迫性障害で家族を支配し生活する

- 強迫性障害でトイレ・お風呂等に入ると時間がかかる
- 家族を支配する
- 親子関係が逆転
- お金を無心する
- お金を出さないと家庭内暴力する
- 入院させる民間業者に頼る 止める

家族会に案内→家庭訪問→入院支援→認知行動療法
→手帳申請→びーのびーの→障害者就労



事例3 20年のひきこもり

- 大学卒業時が氷河期
- 司法試験に挑戦→うまくいかない
- どこにも相談相手がない(医療・就労でもない)
- 親が高齢になる
- 試験勉強以外何もしてない

家族からの相談→本人と面談→適性検査→仕事探し→
就労支援……メンタルの支援伴走



事例4 親亡き後のひきこもり

- 母親が生前福祉なんでも相談のチラシをもっていた
- 大学卒業後社会に出れない
- 親亡き後チラシをもって福祉なんでも相談に
- 生活困窮者支援で就労に

親がなくなる→福祉なんでも相談→びーのびーの
→就労支援



事例5 特技を生かして社会参加を

- アウトリーチ
- 本人のやりたいことを聞き出す
漫画、詩、出版、音楽、手作り、農業、将棋、なぞなぞ

本人のできる活動をみつけびーので活動を作り出し、誘う
家族が変化を受け入れる勇気



事例6 54回目のアウトリーチ

- 有名国立大学大学院ドロップアウト
- 親との連絡とれない
- 会話の地層 星稜ですよ
- 履歴書に書くことがない
- 破れた靴
- 誕生日が就職祝い コンビニのケーキでお祝い

アウトリーチ→医療・カウンセリング・就労支援(拒否)
→知り合いの自営業者→就職→散髪・新品の靴



ふつう

みんながぼくらにいつてくる
「ふつう」になれといつてくる
ぼくらは「ふつう」になれないのに

ふつうというギブスのせいで
ぼくらはいっぱい傷ついて
ひとりぼっちでないてきた
「かわれ」「かわれ」ってみんながさ
ぼくらにいつてくるけどさ
ほんとにかわらなきやいけないのは
ほんとにぼくらなの？

ぼくらは「ふつう」にとどかないのに

詩／たかや



豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者緊急支援

- 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携、学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- 施設 社会貢献費用との連携
- 住替え支援
- 食材支援 フードドライブ



豊中の生活困窮者支援②

- CSWの相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)

→就労準備的な活動 *本人との目標設定(PSプラン)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所...週4回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム2時間一コマ 活動費支給
- ③就労体験...新聞配達、団地の草ひき、買物支援、パン屋さん
農業、林業、うどん屋さん等
→職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給
- ④ビーの×マルシェでの定期的な就労体験
- ⑤就労訓練...パートで一定期間仕事に就く(この間就活)
- ⑥就労支援...就労支援センター・ハローワークとの連携

アウトリーチ		居場所参加	中間的就労	就労体験	就労準備	一般就労
家庭訪問 家族会参加	生活支援	500円/2H	新聞配達	就職活動 地域就労支援 センター	OB会	

豊中びーのびーのプロジェクト

- 対象：発達障害，ひきこもりなどで就職に距離がある人
- 活動費：1コマ（10:00～12:00，13:30～15:30）につき500円
- あらかじめ、プログラム予定表を作成し、参加したいプログラムにエントリーしてもらう

★プログラム参加の中でオーダーメイド型の支援を行う



プログラム進捗状況（園芸）

- 東豊中地域福祉活動支援センターの4階の庭園にて実施
- ボランティアさんの協力により、大根、人参、ブロッコリーなどを植え、販売



プログラム進捗状況（園芸）

- ・ 稲刈りやたけのこ掘りにもチャレンジ



プログラム進捗状況（手作り）

- 手作りプログラム
 - 各種ストラップ作り
 - キャンドル作り
 - 漫画・ハガキ



★作品を福祉の店「なかま」や
市社協のイベントなどで販売

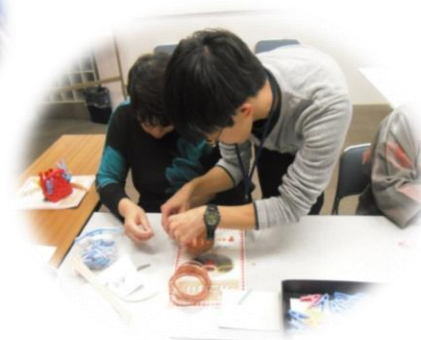


手作りプログラムある日の一コマ



プログラム進捗状況（手作り）

- 手作りプログラムで作成したエコクラフトのかごの作り方を
出前で講座



プログラム進捗状況（手作り）

カレンダー作成打ち合わせ中

出来上がった商品



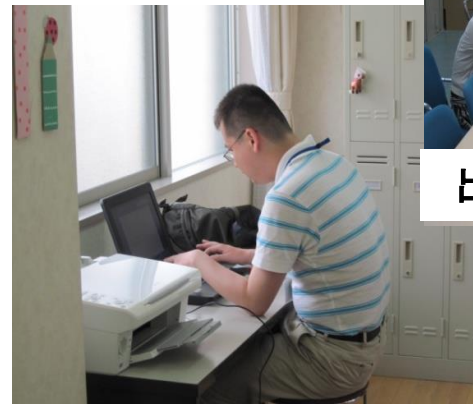
プログラム進捗状況（手作り）

・自分史作り

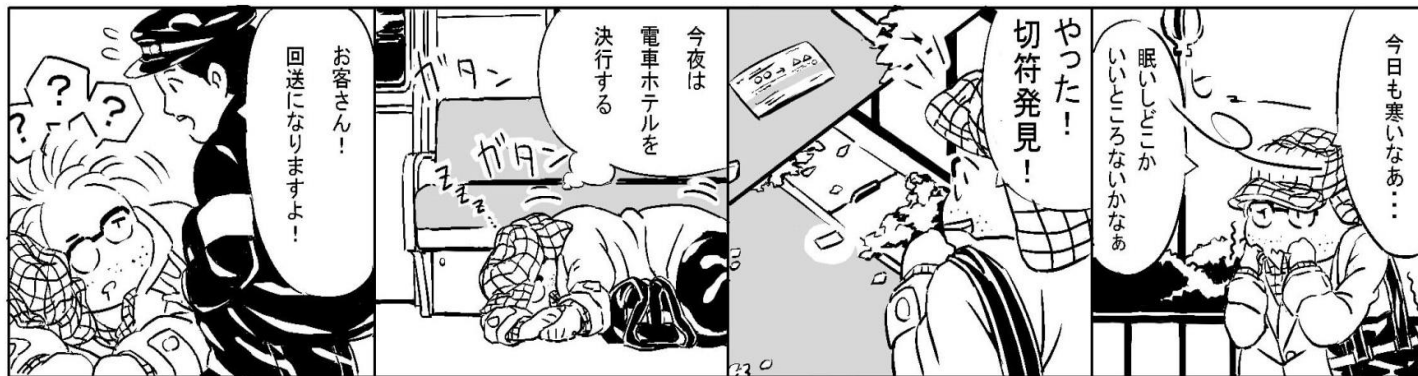
漫画班と協力して、ホームレスの体験を4コマ漫画に。

ビーのニュースでも
好評連載中！
「たつみんの放浪日記」

原稿作りにはげむ作者



出版社との打ち合わせ



「電車ホテル」

○原案：籠原たつみ

○作画：ポリン

プログラム進捗状況（手作り）

・ 自分史作り

・・・製本して出版

荒木龍三 文・ゆめ 絵

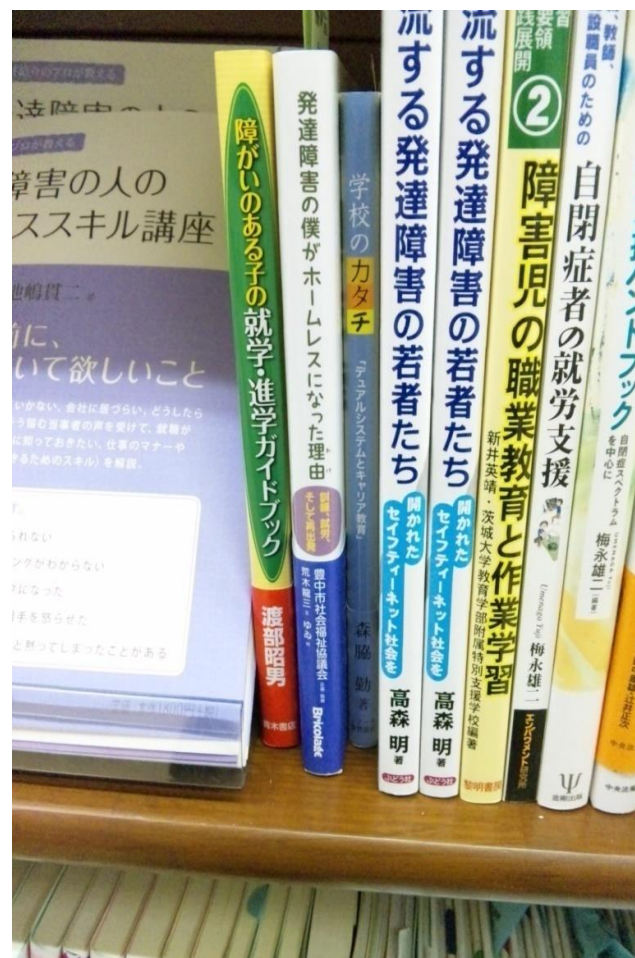
「発達障害の僕が

ホームレスになった理由」

～訓練、就労、そして再出発～

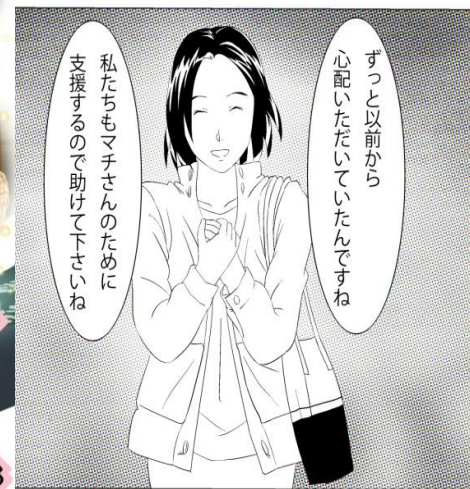
一般書店、インターネットでも購入可

※帯は芹沢俊介氏（作家・評論家）が
文章を寄せてくださる。



プログラム進捗状況（手作り）

- 福祉マンガの発行
コミュニティ
ソーシャルワーカーの
役割や仕事を紹介する
漫画を作成



その他の活動

被災地支援ボランティア



家のかたづけのお手伝い



支えられていた人が支え手になる②

プログラム進捗状況（就労体験）

○就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- ・ 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、

お買い上げの商品を家まで運ぶ



- ・ 情報誌、夕刊配達



支えられていた人が支え手になる③

福祉便利屋(住民主体B1)の取組
200円/15分の支え合い





びーの×マルシェ

びーの×マルシェオープン！
「豊中びーのびーの」（引きこもり等の若者支援事業）と「豊中市小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン！



豊中あぐりパーク

定年後の男性たちと援農



ひきこもり支援におけるソーシャルワーカーの役割

- 入口と出口づくり

入口 早期発見ネットワーク 解決力が発見力

出口 一般就労だけが出口ではない

ひとりひとりの役割がある

- 本人の自己肯定感を高める 徹底した本人尊重

- 翻訳機能 行政と本人 事業所と本人 地域と本人

- SOSを言える気づける地域づくり

知ることによって優しさが生まれる

- 開発力 ないものは作る セーフティネットを作る事業
居場所・就労



- できる・できないのジャッジのワーカーではない
本人の生活から支援を組立てる
- 家族全体の見立てが大切
包括から見たら虐待？ 息子支援は？
保護か？就労支援？
- スモールステップを積み上げる 本人と目標を共有する
- 諦めない心 人生をあきらめかけて人を支える私たちが先に諦めてはいけない
- 援助関係づくり サービス拒否は支援者が拒否されてる
あなたを心配している。苦しい思いを受け止める
社会資源の活用は本人が主体化しないと始まらない



課題

- ひきこもりは背景や原因はさまざまである。一様に自尊感情を戻していくためのつながりや場所が必要であること
介護離職、リストラ、メンタル、障害、いじめ等
- 障害や年齢不問の居場所(活動費があればさらによい)
- 雇用の創出 → 多様な働き方
公共事業
価値観の転換
- 履歴書の空欄や転職歴の記載
- ひきこもりは社会的課題で自己責任では解決しないという啓発
- 全国に相談場所が必要...権利としての社会参加の保障

